

特集：今改めて保健師の専門性とは—ジェネラリストというスペシャリティー—

<総説>

公衆衛生看護におけるジェネラリストの
概念整理と国立保健医療科学院の役割

丸谷美紀

国立保健医療科学院統括研究官

Concept analysis of the generalist in public health nursing
and the role of the National Institute of Public Health

Miki Marutani

Research Managing Director, National Institute of Public Health

抄録

目的：本稿の目的は、各種資料に記述された公衆衛生看護の定義・理念・機能・役割等の内容から、ジェネラリストの概念を整理し、国立保健医療科学院に今後強化が求められる人材育成・研究について考察することである。

方法：公衆衛生看護関連の書籍、看護関連論文、看護関連学会及び職能団体の見解に記述されている公衆衛生看護の定義・理念・機能・役割等の記述から、分野を限定しない活動・広範囲な対象者等、ジェネラリストを表現していると筆者が判断した記述を抽出し、記述内容の類似性をとらえて分類整理した。

結果：公衆衛生看護関連の書籍11件、英文献3件、看護関連学会2件、関連団体3件、計19の資料を選定した。ジェネラリストに関する和文献は皆無だった。分析した結果、「全ての発達段階・健康レベルを看護の対象とする」「個人から国家レベルまでの規模を連動して看護の対象とする」「個別ケアから政策まで多岐に渡る方法を連動して公平に看護を提供する」「長期的視点に立った看護の提供」「幅広い学問分野を基盤とする」の5つに分類された。

結論：ジェネラリストに関する和文献が皆無だったことは、保健師がジェネラリストであることが自明とされてきた可能性もある。本稿で整理した内容のうち、「長期的視点に立った看護の提供」「幅広い学問分野を基盤とする」は、公衆衛生看護におけるジェネラリストの特徴と思われる。我国の喫緊の健康問題を鑑みると、今後、公衆衛生看護におけるジェネラリストには「多分野に渡る健康問題に対して予防的に支援する」技術の強化が必要と考える。

近年、国立保健医療科学院の役割は、保健師の「人材育成能力」の育成に移行しつつあり、今後は、「ジェネラリストを育成する能力」の強化が必要と考える。保健師のジェネラリストとしての暗黙知を明らかにし、形式知として人材育成に反映していく必要がある。国立保健医療科学院の役割遂行に向け、公衆衛生看護の人材育成開発に関する確立された部門の新設も一考と考える。

キーワード：ジェネラリスト、公衆衛生看護、人材育成

連絡先：丸谷美紀

〒351-0197 埼玉県和光市南2-3-6

2-3-6 Minami, Wako, Saitama 351-0197, Japan.

Tel: 048-458-6225

E-mail: marutani.m.aa@niph.go.jp

[平成30年9月18日受理]

Abstract

Objectives: The aim of this review was to analyze the concepts of the generalist in public health nursing and discuss the role of the National Institute of Public Health (NIPH).

Methods: We reviewed descriptions in the literature on definitions, roles, and features of public health nursing, including public health nursing textbooks, nursing journal articles, and statements of nursing academic societies and nursing professional associations. The extracted descriptions related to generalists (e.g., uncategory care and a wide range of clients) were categorized according to similarities.

Results: A total of 19 manuscripts were selected: 11 public health nursing textbooks, 3 journal articles, 2 statements of nursing academic societies, and 3 statements of professional associations. We did not find any Japanese journal articles on public health nursing that discussed the concept of the generalist. The extracted descriptions were divided into 5 categories: (1) care at all ages and in all health statuses, (2) linking multi-level systems from the individual level to the national level, (3) promoting social justice by weaving various methods from individual care to policy making, (4) providing nursing care from the long-term perspectives, and (5) providing care based on a wide range of fields.

Conclusions: The reason why no Japanese articles about generalists were found may be that the generalist role is considered one that is obvious for public health nurses (PHNs) and scholars. Two categories appear to be the primary foci for public health nursing generalists: (1) providing nursing care from the long-term perspective and (2) providing care that is based on a wide range of fields. In addition to these 2 foci, public health nursing generalists should also focus on preventing health problems across multiple fields.

The National Institute of Public Health has recently created and implemented training programs to enhance PHNs' capability to develop human resources. However, NIPH needs to improve these training programs to strengthen the generalist role of PHNs. It must be required to clarify the tacit knowledges of PHNs as generalists and make use of explicit knowledges for the generalists training programs. To attain its goals, NIPH needs to establish a new section focusing on public health nursing.

keywords: generalists, public health nursing, human resource development

(accepted for publication, 18th September 2018)

I. 背景

1. 累積する健康問題と国の責務

近年、我国の公衆衛生の問題は複雑困難となり、対応には多分野にわたる支援を要している。戦後の母子保健や感染症対策は栄養状態の改善や防疫活動が主であったが、今日の社会問題と関連し、児童虐待・新興感染症・外国人労働者の問題等、保健・医療・福祉・教育・労働等の広範囲な支援が必要とされる。さらに、少子高齢化の急激な進展、頻発する自然災害への対応等、健康問題は累積し続けている。

これらがいかに複雑困難な問題であらうとも、憲法25条に「国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努める責務がある」と示される通り、国は問題の改善に努めなければならない。これまで、国は母子・成人・高齢者・障害者等の保健福祉、感染症や難病等の疾病対策等、各分野の制度を充実させ一定の成果を上げてきた[1]。

2. 公衆衛生看護におけるジェネラリスト概念整理の必要性

我国の公衆衛生は、対人保健と対物保健に大別され、行政で働く保健師（以下保健師）は、公衆衛生看護専門

職として対人保健活動において主要な役割を担っている。即ち、地域で暮らす全ての年代・健康レベルの人々が自分らしい生活を送れるよう、個別に支援を行うとともに、同様の問題を持つ集団へ支援し、近隣住民や多様な専門職・非専門職と共にシステムを整え、政策へ位置付けてきた。ところが、健康問題別の制度、即ち母子・成人・高齢者・障害者等の保健福祉、感染症や難病等の疾病対策等の制度が充実すると、保健師は母子保健や高齢者福祉等の分野別に配属されるようになった[2]。これにより、近年急増する多分野に渡る健康問題に予防的に支援する力を減弱させる一因ともなり得、また複雑困難な問題への対応で保健師が疲弊する事態も生じている。

一方で、これらの分野別の制度が充実する以前、概ね地域保健法施行以前から活動してきた保健師は、多分野に渡る健康問題に対して予防的に支援しており、ジェネラリストと称される[3]。ジェネラリストには種々の定義があり、辞書では「分野を限定しない広範囲な知識・技術・経験を持つ人（大辞林）」とされている。看護では、日本看護協会が「特定の専門あるいは看護分野にかかわらず、どのような対象者に対しても経験と継続教育によって習得した多くの暗黙知に基づき、その場に応じた知識・技術・能力を発揮できる者をいう」と定義している[4]。アメリカ公衆衛生看護団体協議会（Quad Council

of Public Health Nursing)は、ジェネラリストの定義は示していないが、公衆衛生看護におけるジェネラリストのコアとなる能力として「ヘルsteamの中で機能できること、住民との意思疎通を図ることができ、地域の人々を動機づけることができる、地域社会の他分野の職種と効果的な共同活動ができる。(中略)患者を助けることができる人たちと患者をつなぐ役割、他の保健医療従事者の行うサービスと自分のサービスを織り交ぜる役割など[5]」を挙げている。これらの日本看護協会によるジェネラリストの定義やアメリカ公衆衛生看護団体協議会が示すジェネラリストのコアとなる能力は幅広く、我国の公衆衛生看護におけるジェネラリストの定義や下位概念を再考する必要があると考える。

公衆衛生看護に関連する各種資料、即ち書籍や職能団体が提示する公衆衛生看護の定義や理念などには、前述したジェネラリストの定義や能力に該当すると思われる記述が散見している。各種資料に記述されている公衆衛生看護におけるジェネラリストの概念を整理して明確に示すことで、保健師の専門性を再確認し意図的に習得することを促し、ジェネラリストとしての能力強化に寄与すると考える。

3. 国立保健医療科学院におけるジェネラリスト育成強化の必要性

国立保健医療科学院は「国民の健やかで安心な生活の実現」に向けて、厚生労働行政施策の推進を図るため、人材育成とともに、これらに関する調査及び研究を行っている。前項で示した通り、我国の公衆衛生において保健師は対人保健活動の主要な担い手であり、国立保健医療科学院においても長期にわたり人材育成を行ってきた。国立保健医療科学院で実施され保健師が受講可能な研修において、保健師は受講生の6割を占めており[6]、国立保健医療科学院は保健師人材育成の要ともいえる。

複雑困難な健康問題や頻発する健康危機等の累積する公衆衛生上の問題に対し、国が責務を果たせるよう、公衆衛生看護専門職として保健師には今後益々多分野に渡る健康問題に対して予防的に支援する能力、即ちジェネラリストの能力が求められると考える。公衆衛生看護におけるジェネラリストの概念を既存資料等から今一度整理し、国立保健医療科学院の人材育成で強化すべき事柄を明確に示すことは、公衆衛生上の問題へ予防的に対応するために有効と考える。

II. 目的

本稿の目的は、各種資料に記述された公衆衛生看護の定義・理念・機能・役割等の内容から、ジェネラリストの概念を整理し、国立保健医療科学院に今後強化が求められる人材育成・研究について考察することである。

III. 方法

1. 資料選定方法 (表1)

各種資料があるが、内容の質を鑑み次のものを検索・参照した。

1) 公衆衛生看護関連の書籍

国立情報学研究所学術情報ナビゲータ (CiNii Books) を用い、「保健師」「公衆衛生看護」「Public health nursing」をkeywordで公衆衛生看護関連の書籍を検索し、入手可能な書籍のうち、重複書籍は最新版を、叢書は「概論・原論」を選定した。

2) 看護関連論文

文献検索データベース (医学中央雑誌, CINAHL, PubMed) を用い、和文献は「保健師」「公衆衛生看護」「ジェネラリスト」、英文献は「Public health nursing」「Generalist」をkeywordで、全年を検索した。検索された文献のうち、「保健師」「公衆衛生看護」「ジェネラリスト」に関する定義・理念・機能・役割等の記載のあるものを選定した。

3) 看護関連学会及び職能団体の見解

看護関連学会、看護職能団体について、ホームページ上で「保健師」「公衆衛生看護」「ジェネラリスト」に関する定義・理念・機能・役割等の記載内容を選定した。

2. ジェネラリスト概念分析方法

各資料に記述されている公衆衛生看護の定義・役割・特徴等々の記述から、分野を限定しない活動・広範囲な対象者等、ジェネラリストを表現していると筆者が判断した記述を抽出し、記述内容の類似性をとらえて分類整理した。分類の過程で公衆衛生看護に精通する研究者の助言を受け精緻さの確保に努めた。

IV. 結果

1. 検索結果・選定結果・選定した資料に見られる記述 (表1・表2)

1) 公衆衛生看護関連の書籍

175件が検索され、そのうち重複書籍を除き、叢書は「概論・原論」とした結果、11書籍が選定され、その記述内容を分析対象とした。選定した書籍で、明確にジェネラリストの記載があるものは表2の資料7のみだった。

2) 看護関連論文

和文献は3本が検索されたが、公衆衛生看護または保健師のジェネラリストに言及されたものは皆無だったため、分析対象からは除外した。英文献では、15件が検索され、そのうち保健師のジェネラリストの定義が読み取れる3件を選定した。3本のうち2本は (表2, 資料13,14) American Public Health Association (APHA) のコンピテンシーを引用していた。

3) 看護関連学会及び職能団体の見解

公衆衛生看護の定義・理念・機能や保健師の活動方

公衆衛生看護におけるジェネラリストの概念整理と国立保健医療科学院の役割

表 1 資料検索方法及び結果

資料種別	検索方法		検索結果	選定結果
	検索手段	検索内容		
1.書籍	国立情報学研究所学術情報ナビゲータCinii Books	keywords「保健師」「公衆衛生看護」「Public health nursing」	175件	重複書籍を除き、叢書は「概論・原論」とし、11書籍を選定
2.論文	医学中央雑誌	keywords「保健師」「公衆衛生看護」「ジェネラリスト」	3件	保健師のジェネラリストとしての内容が皆無のため3件とも除外
	CINAHL	keywords ; generalist, public health nursing	15件	保健師のジェネラリストの定義が読み取れる3件を選定
	PubMed	keywords ; generalist, public health nursing	566件	上記同様
3.看護関連学会、看護職能団体	学会・職能団体Homepage ・日本看護協会 ・全国保健師長会 ・日本公衆衛生看護学会 ・日本地域看護学会 ・日本看護科学学会 ・日本公衆衛生学会 ・APHA Public Health Nursing Section ・American Nursing Association ・Quad council coalition; public health nursing ・International Collaboration for Community Health Nursing Research	Home page上の定義・理念・機能や保健師の活動方針・役割等記載内容		定義・理念・機能や保健師の活動方針・役割等の記載があった次のHomepageの記述を選定 ・日本看護協会 ・日本公衆衛生看護学会 ・APHA Public Health Nursing Section ・Quad council coalition; public health nursing

表 2 資料及び記載内容一覧

資料種別	資料名：出版社/URL	筆頭著者	発行年/アクセス日時	記載内容	注：[]内は引用
1 書籍	公衆衛生看護学.jp 第4版：インターメディアカル	荒賀 直子	2017	【定義】 公衆衛生学および看護学に基礎を置き、地域住民の健康の保持増進に関わることを含め、時代とともに変化する地域社会とその健康問題を把握し、問題解決のために実践する保健・医療・福祉活動を指す。この活動は医学の領域にとどまらず社会学等にもその基盤を置き、地域を巻き込んで教育的・組織的に行う看護活動である。 【公衆衛生看護活動のコアとなる役割】 1.地域住民の健康・QOL向上に寄与する 2.人の生涯を継続的かつ多面的にとらえる 3.人々の生活を社会の中で把握し、健康との関連を考察し、予防活動を展開する 4.公衆衛生看護独自の活動方法（家庭訪問・健康相談・健康教育・健康診査・組織化）を独立的にはなく、常に有機的に関連させて用い、住民の主体的な活動展開を支援する 5.活動の結果は必ず評価し、住民の活動の向上につなげる 6.活動結果を施策につなげる	
2 書籍	公衆衛生看護学テキスト：公衆衛生看護学原論：医歯薬出版	麻原きよみ	2014	【定義】 公衆衛生学および看護学を基盤とした知識、技術を用いて社会で生活する人々（集団）の健康の保持・増進と安寧という目的を達成するために行われる看護である。その活動が公衆衛生看護活動あるいは実践であり、知識の基盤となる学問が公衆衛生看護学である。 （前略）公衆衛生学を基盤として、社会で生活する人々（集団）の健康増進を図る一方で、看護学を基盤に個別支援を行うものであり、個別ケアをしながら社会の健康づくりを行うという看護の特徴がある。 ・人々とは人口集団（population）であり、公衆衛生看護が責任を負う対象である。隣組範囲の小規模集団から、国家レベルの広範囲な集団までである（後略）。	
3 書籍	保健師業務要覧 新版 第3版：日本看護協会出版会	井伊久美子	2017	【定義】 保健師活動は（中略）ウィンスローの公衆衛生の定義とも合致する。保健師とは「当事者が自らの健康課題を解決するプロセスへの援助を核とし、地域を基盤に健康問題をとらえ、予防につながる組織的な取り組みを担い、公的責任を志向する公衆衛生看護専門職」である。	
4 書籍	公衆衛生看護学 第2版：中央法規	上野 昌江	2016	【定義】 ・[津村]：地域で生活しているあらゆる健康レベルの人々が主体的に健康を守り、QOLの向上を目指すように寄与することである。そのために看護職はチームの一員として、個人・家族、近隣・グループ、コミュニティと関わり青式的な健康活動を必要環境調整を行うこと。 ・[アメリカ公衆衛生看護協会公衆衛生看護部会]：看護学、社会学、公衆衛生学による知識を用いて、集団の健康の増進と保護を図る活動のことである。保健師は疫学的データと、人々が日常的に経験しているような健康や疾病の臨床的理解との間を結び付け、意味づけしていく。 ・[日本公衆衛生看護学会]：社会的公正を活動の規範におき、系統的な情報収集と分析により明確化若しくは予測した、個人や家族の健康課題とコミュニティの健康課題を連動させながら、対象の生活に視点をのいた支援を行う。さらに、対象とするコミュニティや関係機関と協働し、社会資源の創造と組織化を行うことにより対象の健康を支えるシステムを創生する。	

資料種類	資料名：出版社/URL	筆頭著者	発行年/アクセス日時	記載内容 注：[]内は引用
5 書籍	最新保健学講座 公衆衛生看護学概論：メジカルフレンド	金川克子	2015	<p>【定義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[平山]：公衆衛生の目的・理念を、看護の知識や技術を適応させることによって追究する看護専門領域である。 ・[平野]：地域で生活するすべての人々の健康が向上し、人々が協働してより生活しやすい地域社会とすること。 ・[日本公衆衛生看護学会]：公衆衛生看護の対象は、あらゆるライフステージにある、すべての健康レベルの個人と家族、及びその人々が生活し活動する集団、組織、地域などのコミュニティである。公衆衛生看護の目的は、自らの健康やQOLを維持・改善する能力の向上及び対象を取り巻く環境の改善を支援することにより、健康の保持増進、健康障害の予防と回復を促進し、もって人々の生命の延伸、社会の安寧に寄与することである。公衆衛生看護は、これらの目的を達成するために、社会的公正を活動の規範におき、系統的な情報収集と分析により明確化もしくは予測した、個人や家族の健康課題とコミュニティの健康課題を連動させながら、対象の生活に視点をかけた支援を行う。さらに、対象とするコミュニティや関係機関と協働し、社会資源の創造と組織化を行うことにより対象の健康を支えるシステムを創生する。
6 書籍	標準保健師講座 公衆衛生看護学概論 第4版：医学書院	標美奈子	2015	<p>【定義】</p> <p>公衆衛生の理念をもとに、地域で生活するあらゆる人々の健康を看護の立場から保持・増進し、疾病を予防していくことを目指すものである。</p> <p>公衆英紙絵看護は、看護の立場から公衆衛生の目的を達成するために実践される、個人・家族、集団、組織を対象にした意図的・組織的な活動である。公衆衛生看護の実践には、社会的な関係も踏まえた地域健康ニーズの的確な把握、地域住民との共同や地域住民の主体的な問題解決を支援することが不可欠となる。</p>
7 書籍	最新公衆衛生看護学総論：日本看護協会出版会	宮崎美砂子	2014	<p>【定義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[アメリカ公衆衛生協会 (APHA)]：看護学、社会学、公衆衛生学による知識を用いて、集団の健康の増進と保護を図る活動のことである。 ・[アメリカ看護師協会 (ANA)]：集団に焦点を当てた、コミュニティ志向の看護活動であり、その目標はすべての人々を対象に、人々が健康になることができる状態を想像し、疾病と障害を予防することである。 ・[クレイク]：個人・家族よりも一定のコミュニティに焦点を当てること、治療的医療と同様に疾病予防や健康増進を強調すること、ケアを必要としている人を発見し相談に応じていくアウトリーチ機能を果たすこと、専門職としての自立性を持っていること。 <p>【保健師に求められる能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[平山]：ジェネラリストとしての専門家として、チームの中で機能できること。 ・[平山] (WHO Community Health Nursing 専門委員会報告についての我が国の課題より)：ジェネラリストとしてのナースのあり方：ヘルスチームの中で機能できること、住民との意思疎通を図ることができ、地域の人々を動機づけることができ、地域社会の他分野の職種と効果的な共同活動ができることなどである。そして、看護の発展の方向については、専門分化した一つの職業としてよりも、むしろヘルスケアシステムとしての発展を図るべきことを提案している。そのようなシステムは、ヘルスケアの広範な機能を含み、地域社会の住民・看護師・助産師、他の臨床家・教師・行政担当者・研究者等多くの関係者の間にて、常に意見交換を行うべきとしている。 地域社会の中で看護活動を行う場合に要求される能力は、確かに上記のようなジェネラリストとしての専門性である。我が国の保健師がすでに行っている活動例を見ると、家庭で療養している一人の患者のケアを充実させる場合には、各種の専門職を動員してチーム作りを行っている。さらに、専門職ばかりか、家族・近隣者など非専門職の人にもチームに加えてケアの内容を豊かにしている。ケアの内容を高めるためには、さまざまな人の能力を結集し、その人たちのチームの中で看護が一定の役割を受け持つ。(中略)患者を助けることができる人たちと患者をつなぐ役割、他の保健医療従事者の行うサービスと自分のサービスを織り交ぜる役割などが公衆衛生看護の特徴を語るものとして強調されてきた。 ・[アメリカ公衆衛生看護団体協議会 (Quad Council of Public Health Nursing)]：ジェネラリストのコアとなる能力： <ol style="list-style-type: none"> ①分析的なアセスメント技術 ②政策形成・プログラム立案の技術 ③コミュニケーション技術 ④文化的能力に関する技術 ⑤コミュニティに働きかける技術 ⑥公衆衛生に関する技術 ⑦予算計画・管理に関する技術 ⑧組織運営に関する技術
8 書籍	これからの保健医療福祉行政論 地域づくりを推進する保健師活動 第2版：日本看護協会出版会	星旦二	2014	<p>【保健師の目的と活動】</p> <p>社会で生活する人々(集団)を対象とし、人々の健康の保持・増進と安寧を目的として行う健康を保持・増進する活動であり、自治体も保健師も、ともに社会の一定域のすべての人々(集団)を対象都市、人々の福祉の向上を目的として活動することは同じである。攻守英紙絵は国(自治体)の責任として、組織的に行われるものである。公衆衛生の専門職である保健師には、自治体において健康領域からの行政活動、すなわち地域づくりが求められているのであり、保健師が行政に所属している意味はここにある。</p> <p>(中略)以上から、地域の人々の健康や幸福の向上という目的を実現するために、保健師が活動を行う上で認識すべき前提がある。それは①同じ目的を持つ行政機関の関係部署および関係者と協働して活動すること、②住民と共に活動すること(これは住民自治の考え方からすれば当然である)、③人々の健康と幸福の向上のための地域づくりを行う、ということである。</p>
9 書籍	いま改めて公衆衛生看護とは一定義・役割と範囲・規範：日本看護協会出版会	キャロライン・マッコイ・ホワイト 編、著者、村嶋幸代、川越博美 訳	2003	<p>【定義】</p> <p>ある集団に向けられた看護活動である。公衆衛生看護活動では、外傷、疾病、疾病の脅威、あるいは予後不良のリスクの高い集団でアセスメントが行われ、リスクが特定され、またサービスを利用可能にし、アクセスするための資源に焦点が当てられる。公衆衛生看護の目標とは、コミュニティの指導者、利益団体、雇用者、家族、個人と協力しながら、継続的アセスメント、調整された実施計画、ケアマネジメントを通じて、さらには社会的あるいは政治的活動へのかかわりを通じて、集団の健康を向上させることである。</p>
10 書籍	Public health nursing : population-centered health care in the community. Elsevier	Marcia Stanhope	2016	<p>the primary features of public health nursing as a specialty are population focus, community orientation ,health promotion and disease prevention emphasis, and population-level concern and interventions, which frequently are at the level of public policy, such as anti-smoking laws, the requirement of immunizations for entry to school, and seat belt legislation.</p> <p>【特徴】(筆者訳)</p> <p>専門領域としての公衆衛生看護は、集団に焦点を当て、地域を志向し、健康増進と疾病予防を強調し、頻繁に禁煙法、入学前予防接種、シートベルト着用規制など、保健政策のレベルに位置づく集団レベルの課題と介入を特徴とする介入である。</p>
11 書籍	Community and public health nursing : promoting the public's health 9th edition. Wolters Kluwer.	Cherie Rector	2018	<p>Public health nursing is grounded in both public health science and nursing science, which makes its philosophical orientation and the nature of its practice unique.</p> <p>(筆者訳)</p> <p>公衆衛生看護は公衆衛生と看護科学に根差し、哲学的志向と独自の実践の本質を形作る。</p>

公衆衛生看護におけるジェネラリストの概念整理と国立保健医療科学院の役割

資料種類	資料名：出版社/URL	筆頭著者	発行年/アクセス日時	記載内容 注：[]内は引用
12 論文	Organizing public health nursing for the 1990s: generalist or specialist.Can J Public Health.82(4)	Underwood EJI	1991	Public Health Nurses (PHNs) have been deployed in most health units in Canada to provide community-based care for all people living in defined geographical areas. PHNs have provided nursing services for all ages and stages for a variety of health and illness states. (筆者訳) カナダの保健部門の保健師は、一定の地域に住む全ての人々に対し、地域を基盤としたケアを提供してきた。保健師は全ての年代、健康と疾病の多様な段階に対して看護を提供してきた。
13 論文	Public health nursing: the generalist in a specialized environment : Public Health Nursing20(4) : Wiley	May KM	2003	[APHA] : the practice of promoting and protecting the health of populations using knowledge from nursing, social, and public health sciences (筆者訳) 看護学, 社会学, 公衆衛生学の知識を用いて, 集団の健康を増進し予防する実践である。
14 論文	Achieving clarity in evaluation of community/public health nurse generalist competencies through development of a clinical performance evaluation tool. Public Health Nursing20(3): wiley	Kaiser KL	2003	[APHA] : the practice of promoting and protecting the health of populations using knowledge from nursing, social, and public health sciences (筆者訳) 看護学, 社会学, 公衆衛生学の知識を用いて, 集団の健康を増進し予防する実践である。
15 Homepage	日本看護協会 継続教育の基準 : https://www.nurse.or.jp/nursing/education/keizoku/pdf/keizoku-ver2.pdf	日本看護協会	2012/2018.8.10	【定義】 ジェネラリストとは、特定の専門あるいは看護分野にかかわらず、どのような対象者に対しても経験と継続教育によって習得した多くの暗黙知に基づき、その場に応じた知識・技術・能力を発揮できる者をいう。
16 Homepage	日本公衆衛生看護学会 : https://japhn.jp/wp/wp-content/uploads/2017/04/def_phn_ja_en.pdf	日本公衆衛生看護学会	2014/2018.8.10	【対象・目的】 公衆衛生看護の対象は、あらゆるライフステージにある、すべての健康レベルの個人と家族、及びその人々が生活し活動する集団、組織、地域などのコミュニティである。公衆衛生看護の目的は、自らの健康やQOLを維持・改善する能力の向上及び対象を取り巻く環境の改善を支援することにより、健康の保持増進、健康障害の予防と回復を促進し、もって人々の生命の延伸、社会の安寧に寄与することである。 公衆衛生看護は、これらの目的を達成するために、社会的公正を活動の規範におき、系統的な情報収集と分析により明確化若しくは予測した、個人や家族の健康課題とコミュニティの健康課題を連動させながら、対象の生活に視点をのこした支援を行う。さらに、対象とするコミュニティや関係機関と協働し、社会資源の創造と組織化を行うことにより対象の健康を支えるシステムを創生する。
17 Homepage	APHA Public Health Nursing Section : https://www.apha.org/-/media/files/pdf/membergroups/phn/nursingdefinition.ashx?la=en&hash=331D-BEC4B79E0C0B8C644BF-2BEA571249F8717A0	APHA Public Health Nursing Section	2013/2018.8.10	Public health nursing is the practice of promoting and protecting the health of populations using knowledge from nursing, social, and public health sciences. Public health nursing is a specialty practice within nursing and public health. It focuses on improving population health by emphasizing prevention, and attending to multiple determinants of health. Often used interchangeably with community health nursing, this nursing practice includes advocacy, policy development, and planning, which addresses issues of social justice. With a multi-level view of health, public health nursing action occurs through community applications of theory, evidence, and a commitment to health equity. 【定義】(筆者訳) 公衆衛生看護は、看護学、社会学、公衆衛生学の知識を用いて、集団の健康を増進し予防する実践である。 公衆衛生看護は看護と公衆衛生に渡る専門的な実践である。予防を強調し、複数の健康決定要因に関わることで集団の健康の改善に焦点を当てる。頻繁に地域看護つまりアドボカシー、政策形成、計画立案を含む看護実践と互換可能で、社会正義の課題に言及する。複数レベルの健康の観点から、理論、エビデンス、健康の公平性への専心をコミュニティに応用することを通じ、公衆衛生看護活動は行われる。
18 Homepage	QCC - Quad Council Competencies for Public Health Nurses : http://www.quadcouncilphn.org/documents-3/2018-qcc-competencies/	Quad Council of Public Health Nursing	2018/2018.8.10	Tier 1 Core Competencies apply to generalist community/public health nurses (C/PHN) who carry out day - to - day functions in community organizations or state and local public health organizations, including clinical, home visiting and population - based services, and who are not in management positions. Responsibilities of the C/PHN may include working directly with at-risk populations, carrying out health promotion programs at all levels of prevention, basic data collection and analysis, field work, program planning, outreach activities, programmatic support, and other organizational tasks. Although the CoL competencies and the C/PHN competencies are primarily focused at the population level, C/PHNs must often apply these skills and competencies in the provision of services to individuals, families, or groups. Therefore, Tier 1 competencies reflect this practice. 【第1段階 ジェネラリストとしてのコンピテンシー】(筆者訳) 地域組織、州、地方保健機関で、診療、家庭訪問、集団へのサービスを含む日々の業務を行う者で、管理的立場にない。公衆衛生/地域看護師の責務は、リスク集団への直接の働きかけ、全予防レベルにおける健康増進プログラムの実施、基礎データ収集と分析、フィールドワーク、プログラム策定、アウトリーチ、ほか組織の業務である。コンピテンシーは主に集団に焦点を当てるが、個人、家族、集団へのサービス提供にスキルとコンピテンシーを頻繁に用いなければならない。従って第1段階におけるコンピテンシーはこの実践を反映する。
19 Homepage	http://apps.who.int/iris/handle/10665/108460	World health organization	2018/2018.8.10	・ p611-2; Nord reported that the generalist public health nurses serving the remote communities of Alaska have managed to get tuberculosis and vaccine-preventable diseases largely under control. ・ p814-6; Generalist public health nurses were introduced to provide services for populations recognized by health departments as being at-risk or more susceptible than the general community to communicable and noncommunicable diseases. ・ p1811-2; it will be important that the family nurse role is linked in some way to that of generalist public health nurses. (筆者訳) ・ Nordはアラスカのへき地で活動するジェネラリスト保健師は、結核や予防接種でコントロールしうる疾患を管理していると報告した。 ・ ジェネラリスト保健師は、一般の集団よりも感染性・非感染性の疾患にりしやすいため保健局から認識された集団にサービスを提供すると報告されている。 ・ 家族看護においてはジェネラリスト保健師としての役割と関連させることが重要となるだろう。

針・役割等の記載があった、日本看護協会・日本公衆衛生看護学会・APHA Public Health Nursing Section・Quad council coalition; public health nursingのHomepageの記述を選定した。ジェネラリストの定義やコンピテンシーについて明確な記述があるものは、日本看護協会、Quad council coalition; public health nursingの2団体だった。公衆衛生看護の定義・理念等の記載は、日本公衆衛生看護学会、APHA Public Health Nursing Sectionの2団体に見られた(表2)。

2. ジェネラリスト概念整理(表3)

選定した19の資料に記述されている公衆衛生看護の定義・理念・機能・役割等の記述から、分野を限定しない活動・広範囲な対象者等、ジェネラリストを表現していると筆者が判断した記述を抽出し、記述内容の類似性をとらえて分類整理した。その結果、「全ての発達段階・健康レベルを看護の対象とする(分析対象文献1,4,5,6,7,12,15,16,18)」「個人から国家レベルまでの規模を連動して看護の対象とする(分析対象文献2,4,5,7,10,16,18)」「個別ケアから政策まで多岐に渡る方法を連動して公平に看護を提供する(分析対象文献1,2,4,5,6,7,8,9,18)」「長期的視点に立って看護を提供する(分析対象文献1)」「幅広い学問分野を基盤とする(分析対象文献1,4,7,8,11,13,14,17)」の5つに分類された。

V. 考察

1. 資料の記載状況から考えるジェネラリストの再認識の必要性

ジェネラリストについて明確に記載が見られた資料は、日本では書籍の1件のみで和論文は皆無、海外の資料も論文が3本とQuad council coalition; public health nursingのみだった。このことは、保健師がジェネラリストであることが自明のこととして追究されて来なかった可能性もある。しかしながら、昨今の複雑困難な健康問題の増加や頻発する災害への対応を考えると、ジェネラリストとしての認識と能力を明らかにし資料として示していく

必要があると思われる。

2. 資料の記述内容から考えるジェネラリストの再定義の必要性

1) 資料の記述内容に見られるジェネラリストの特徴
ジェネラリストの記述内容を整理すると、対象・方法・学的基盤の多様性、及び柔軟な対象のとらえ方と看護の展開方法に特徴がみられる。即ち、多様な発達段階・健康レベル・規模を対象とし、家庭訪問・組織化・アウトリーチ・政策化まで多様な方法を用い、公衆衛生学・社会学等の多様な学門を基盤として活動している。また、個人・地域・国家まで対象を連動して捉え、地域と健康問題を連動させ時代に応じた問題に対応する、という柔軟性がある。

これらは概ね日本看護協会のジェネラリストの定義に合致する。即ち、本稿で整理した「対象・方法の多様性」は、日本看護協会の「特定の専門あるいは看護分野にかかわらず、どのような対象者に対しても」に該当する。また、本稿で整理した「柔軟な対象のとらえ方と看護の展開方法」は、日本看護協会の「その場に応じた知識・技術・能力を発揮できる者」に該当する。

しかし、本稿で整理した「長期的視点で看護を提供する」「幅広い学問分野を基盤とする」は、公衆衛生看護におけるジェネラリストの特徴と思われる。施設内や在宅で提供される看護に比較し、公衆衛生看護は療養中のみならず、人々の生涯にわたり疾病を予防しQOLの向上に努めるため提供期間は長期となる。また、住所不定者や環境問題等、社会問題に密着した健康問題へ対応するため、多様な学的基盤に基づいて看護を提供する特徴がある。

2) 公衆衛生看護におけるジェネラリストに強化が必要な内容

本稿の背景で述べたように、我国の健康問題は複雑困難度を増し、また頻発する健康危機等の公衆衛生上の問題は累積している。多分野に渡る健康問題に対して予防的に支援する力を保健師は強化する必要があるが、本稿で整理したジェネラリストの記述内容に「多分野に渡る

表3 ジェネラリストを表現している記述内容の分類

分類	小分類	文献番号
全ての発達段階・健康レベルの人々を看護の対象とする	全ての発達段階にある人々を対象とする	1,5,12,16
	全ての健康レベルにある人々を対象とする	4,5,12,16,18
	地域で生活するすべての人々を対象とする	5,6,7,15
個人から国家レベルまでの規模を連動して看護の対象とする	個人・家族・集団・地域・社会・国家の規模を連動して看護を提供する	2,4,5,16,18,19
	集団・コミュニティを志向して看護を提供する	7,10,17
個別ケアから政策まで多岐に渡る方法を連動して公平に看護を提供する	家庭訪問・健康相談・健康教育・健康診査・組織化等の提供方法を有機的に連動して看護を提供する	1,18
	地域と健康問題を関連させ、組織を横断して多職種・住民と協働してPDCAサイクルを実施する	18
	アウトリーチ・政策反映による公平性の確保	1,2,4,5,6,7,8,9
長期的視点で看護を提供する	時代の変化に応じた社会・健康問題に対応する	1,7,9,10,17,18
幅広い学問分野を基盤とする	看護学・公衆衛生学・社会学等の幅広い学問を基盤とする	1
		1,4,7,8,11,13,14,17

健康問題に対して予防的に支援する」記述は見られなかった。医学中央雑誌で「多問題」「困難事例」「公衆衛生看護」のkey wordsで再検索したが、10本程度のみが検索され、内容も虐待事例に偏向していた。

我国では、各分野の制度の充実に伴い、保健師は制度別に分散配置され複数の健康問題に対応することが難しくなったが、米国でも同様の傾向がみられる。即ち「個人や家族が1回の訪問で複数のサービスが受けられるアプローチは、ジェネラリストとしての保健師に活用されるべきだが、categorical service（分野別のサービス）、プロセスを重視しない哲学、記録の共有システムの欠如などが活動を阻んでいる」と記されている[7]。日本と米国では制度は異なるが、健康問題を横断したアプローチの必要性とそれを実現できるシステムの整備が、複雑困難な健康問題や頻発する健康危機への対応に必要なと思われる。

従って、今後、公衆衛生看護におけるジェネラリストには「多分野に渡る健康問題に対して予防的に支援する能力」を強化する必要があると考える。

3. ジェネラリストに関し国立保健医療科学院に強化が必要な人材育成・研究

1) 強化が必要な人材育成

保健師は、冒頭に記したように憲法25条に記されている「公衆衛生の向上」の対人保健活動の主要な役割を担っており、保健所行政の施策で強化が求められている内容のほとんどは保健師が関与するものである[8]。公衆衛生の第一線から保健師が撤退した場合、日本の公衆衛生は保証し得ないといっても過言ではないと思われる。国立保健医療科学院は、長期研修・短期研修において保健師の資質向上に一定の貢献をしてきた。しかしながら、ジェネラリストの育成という視点はこれまで重視されていないように思える。

国立保健医療科学院は、旧公衆衛生院の時代から平成23年までは公衆衛生看護の教員養成の役割もあったが、近年の看護大学増設により教員養成の役割は縮小した。

一方、厚生労働省による「保健師活動指針」には人材育成が明記されており、近年の国立保健医療科学院の研修は「人材育成能力の向上」に移行しつつある[9]。今後は、「ジェネラリストを育成する能力」の向上を強化していく必要があると考える。

2) 強化が必要な研究

国立保健医療科学院公衆衛生看護研究領域の研究は、現在9分野に渡る内容を実施している(図1)。各分野で培ってきた研究知見や研究遂行能力を統合させ、「ジェネラリストの育成能力」の強化に向けたプログラムを開発する研究が必要と考える。

考察2の3)で示したように、多問題への支援に関する研究論文は少ないが、保健師の実践報告には、重複する健康問題を抱えた個人への援助[10]、多分野の健康課題を組み合わせた予防活動[11]等、ジェネラリストとしての活動が散見している。これらの暗黙知を研究として明らかにし、形式知としてジェネラリスト育成に反映していく必要がある。

3) 強化が必要な体制

国立保健医療科学院では、平成23年の組織再編により公衆衛生看護部が廃部になった。その後、公衆衛生看護研究領域の研究官は3つの研究部に分散された。分散された研究官をまとめる統括研究官は存在するが、研究官が各研究部にまたがるため、人材育成・研究の推進力は減弱していると感じる。国の公衆衛生向上の責務を果たすべく、ジェネラリストの育成に向けて、国立保健医療科学院に、公衆衛生看護の人材育成開発に関する確立された部門の新設も一考と考える。

VI. 結論

各種資料に記載されたジェネラリストに関する記述内容を整理した。その結果、国内外の状況から、多分野に渡る健康問題に対して予防的に支援する内容の付加が必要と考えられた。国の公衆衛生の向上及び増進という責務を果たすべく、国立保健医療科学院はジェネラリスト

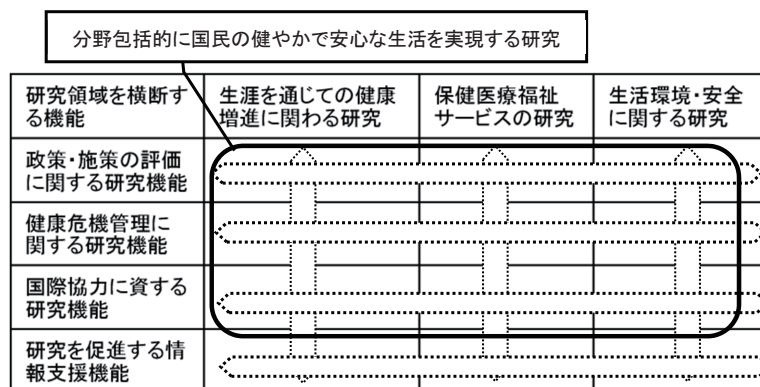


図1 国立保健医療科学院公衆衛生看護研究領域の研究範囲イメージ図 (国立保健医療科学院HPより一部改変)

育成に向け、人材育成と研究を強化する必要がある、公衆衛生看護の人材育成開発に関する確立された部門の新設も一考と考える。

引用文献

References

- [1] 厚生労働統計協会. 衛生行政活動の概況. 厚生 の 指 標 増 刊 国 民 衛 生 の 動 向. 2017;63(9):32-48.
Health, Labour and Welfare Statistics Association. [Eisei gyosei katsudo no gaikyo.] Kosei no shihyo zokan journal of health and welfare statistics. 2017;63(9):32-48. (in Japanese)
- [2] 厚生労働省. 平成30年度保健師中央会議資料.
https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000174319_00002.html (accessed 2018-08-21)
Ministry of Health, Labour and Welfare. [Heisei 30 nendo hokenshi chou kaigi shiryō.] https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000174319_00002.html (accessed 2018-08-21) (in Japanese)
- [3] 宮崎美砂子, 北山三津子, 春山早苗, 田村須賀子, 編集. 最新公衆衛生看護学総論. 東京: 日本看護協会出版会; 2014. p.7-8.
Miyazaki M, Kitayama M, Haruyama S, Tamura S, edited. [Saishin koshu eisei kangogaku soron.] Tokyo: Nihon Kango Kyokai Shuppankai; 2014. p.7-8. (in Japanese)
- [4] 日本看護協会. 継続教育の基準. <https://www.nurse.or.jp/nursing/education/keizoku/pdf/keizoku-ver2.pdf> (accessed 2018-08-21)
Japanese Nursing Association. [Keizoku kyoiku no kijun.] <https://www.nurse.or.jp/nursing/education/keizoku/pdf/keizoku-ver2.pdf> (accessed 2018-08-21) (in Japanese) (in Japanese)
- [5] Quad Council Coalition. Quad Council competencies for public health nurses. <http://www.quadcouncilphn.org/documents-3/2018-qcc-competencies/> (accessed 2018-08-21)
- [6] 成木弘子, 松本珠実, 奥田博子, 森永裕美子, 川崎千恵, 堀井聡子, 大澤絵里. 国立保健医療科学院における保健師人材育成体制の現状と今後の取り組み. 保健医療科学. 2016;65(5):501-509.
Naruki H, Matsumoto T, Okuda H, Morinaga Y, Kawasaki C, Horii S, Osawa E. [Current status and future tasks in human resource development system for health nurses in the National Institute of Public Health.] 2016;65(5):501-509. (in Japanese)
- [7] May KM, Phillips LR, Ferketich SL, Verran JA. Public health nursing: the generalist in a specialized environment. Public Health Nurs. 2003;20(4):252-259.
- [8] 全国保健所長会. 平成31年度保健所行政の施策及び予算に関する要望書. http://www.phcd.jp/02/sengen/pdf/youbou_H31.pdf (accessed 2018-08-06)
Zenkoku Hokenjocho-kai. [Heisei 31 nendo hokenjo gyossei no shisaku oyobi yosan nikansuru yobosho.] http://www.phcd.jp/02/sengen/pdf/youbou_H31.pdf (accessed 2018-08-06) (in Japanese)
- [9] 成木宏子, 研究代表者. 厚生労働科学研究費補助金健康安全・危機管理対策総合研究事業「管理的立場にある市町村の保健師の人材育成に関する研究」(H29-健危-一般-001) 平成29年度総括報告書. 2018. Naruki H, Kenkyu daihyosha. [Health, Labour and Welfare Sciences research grants, Research on health security control. "Kanriteki tachiba ni aru shichoson no hokenshi no jinzai ikusei ni kansuru kenkyu." (H29-Kenki-Ippan-001) Heisei29nendo sokatsu hokokusho.] 2018. (in Japanese)
- [10] 丸谷美紀, 岡田由美子, 長谷川卓志. 自殺対策における保健師のNPOとの協働方法. 日本公衆衛生雑誌. 2016;63(1):26-31.
Marutani M, Okada Y, Hasegawa T. [Collaboration between public health nurses and the private sector.] Nihon Koshu Eisei Zasshi. 2016;63(1):26-31. (in Japanese)
- [11] 瀧川順子, 田上今日子, 日々千恵子, 島田美帆, 小竹亜希子, 佐藤裕子. 若い世代の主體的な健康づくりを支援—八王子市乳がん検診普及啓発を中心とした「女性の健康支援対策事業」. 保健師ジャーナル. 2010;66(11):982-986.
Takigawa J, Tagami K, Hibi C, Shimada M, Kotake A, Sato H. [Wakai sedai no shutaitekina kenko zukuri wo shien : Hachioji-shi nyugan kenshin fukyu keihatsuwo chushin toshita "Josei no kenko shien taisaku jigyo".] Hokenshi Journal. 2010;66(11):982-986. (in Japanese)

分析対象文献

Analysis target literature

- [1] 荒賀直子, 後閑容子. 公衆衛生看護学.jp.第4版. 東京: インターメディカル; 2017.
Araga N, Gokan Y. [Koshu eisei kangogaku.jp 4th ed.] Tokyo: Intermedical; 2017. (in Japanese)
- [2] 麻原きよみ, 荒木田美香子, 岡本玲子, 佐伯和子, 編集. 公衆衛生看護学テキスト: 公衆衛生看護学原論. 東京: 医歯薬出版; 2014.
Asahara K, Arakida M, Okamoto R, Saeki K, edited. [Koshu eisei kangogaku text: Koshu eisei kangogaku genron.] Tokyo: Ishiyaku Shuppan; 2014. (in Japanese)
- [3] 井伊久美子, 荒木田美香子, 松本珠実, 堀井とよみ, 村嶋幸代, 平野かよ子, 編. 保健師業務要覧 新版 第3版. 東京: 日本看護協会出版会; 2017.
Ii K, Arakida M, Matsumoto T, Horii T, Murashima S,

- Hirano K, edited. [Hokenshi gyomu yoran. Shinpan Dai 3 han.] Tokyo: Japan Nihon Kango Kyokai Shuppankai; 2017. (in Japanese)
- [4] 上野昌江, 和泉京子. 公衆衛生看護学 第2版. 東京: 中央法規; 2016.
- Ueno M, Izumi K. [Koshu eisei kangogaku. Dai 2 han.] Tokyo: Chuo Hoki; 2016. (in Japanese)
- [5] 金川克子, 編集. 公衆衛生看護学概論. 東京: メジカルフレンド; 2015.
- Kanagawa K, editor. [Koshu eisei kangogaku gairon.] Tokyo: Mejikarufurendo; 2015. (in Japanese)
- [6] 標美奈子, 松田正己, 渡部月子, 音喜多久枝, 中谷淳子, 新井香奈子, 他. 公衆衛生看護学概論. 標準保健師講座. 第4版. 東京: 医学書院; 2015.
- Shimegi M, Matsuda M, Watanabe T, Otokita H, Nakatani J, Arai K, et al. [Koshu eisei kangogaku gairon. Hyojun hokenshi koza. Dai 4 han.] Tokyo: Igaku Shoin; 2015. (in Japanese)
- [7] 宮崎美砂子, 北山三津子, 春山早苗, 田村須賀子, 編集. 最新公衆衛生看護学 総論. 東京: 日本看護協会出版会; 2014.
- Miyazaki M, Kitayama M, Haruyama S, Tamura S, edited. [Saishin koshu eisei kangogaku soron.] Tokyo: Nihon Kango Kyokai Shuppankai; 2014. (in Japanese)
- [8] 星旦二, 麻原きよみ. これからの保健医療福祉行政論 地域づくりを推進する保健師活動 第2版. 東京: 日本看護協会出版会; 2014.
- Hoshi T, Asahara K. [Korekara no hoken iryo fukushi gyoseiron chiiki zukuri wo suishin suru hokenshi katsudo. Dai 2 han.] Tokyo: Nihon Kango Kyokai Shuppankai; 2014. (in Japanese)
- [9] キャロライン・マッコイ・ホワイト, 編. 村嶋幸代, 川越博美, 訳. いま改めて公衆衛生看護とは: 定義・役割と範囲・規範. 東京: 日本看護協会出版会; 2003.
- White CM, edited. Murashima S, Kawagoe H, translated. [Ima aratamete koshu eisei kango toha: Teigi yakuwari to hani kihan.] Tokyo: Nihon Kango Kyokai Shuppankai; 2003. (in Japanese)
- [10] Stanhope M, Lancaster J. Public health nursing, 9th edition: population-centered health care in the community. St. Louis, Mo.: Elsevier; 2016.
- [11] Rector C. Community and public health nursing-Promoting the public's health 9th edition. Philadelphia: Wolters Kluwer; 2018.
- [12] Underwood EJ, Woodcox V, Van Berkel C, Black M, Ploeg J. Organizing public health nursing for the 1990s: generalist or specialist. Can J Public Health. 1991;82(4):245-248.
- [13] May KM, Phillips LR, Ferketich SL, Verran JA. Public health nursing: the generalist in a specialized environment. Public Health Nursing. 2003;20(4):252-259.
- [14] Kaiser KL, Rudolph EJ. Achieving clarity in evaluation of community/public health nurse generalist competencies through development of a clinical performance evaluation tool. Public Health Nursing. 2003;20(3):216-227.
- [15] 日本看護協会. 継続教育の基準ver.2. 2012. <https://www.nurse.or.jp/nursing/education/keizoku/pdf/keizoku-ver2.pdf> (accessed 2018-08-10)
- Japanese Nursing Association. [Keizoku kyoiku no kijun ver.2.] 2012. <https://www.nurse.or.jp/nursing/education/keizoku/pdf/keizoku-ver2.pdf> (accessed 2018-08-10)(in Japanese)
- [16] 日本公衆衛生看護学会. 日本公衆衛生看護学会による公衆衛生看護関連の用語の定義. https://japhn.jp/wp/wp-content/uploads/2017/04/def_phn_ja_en.pdf (accessed 2018-08-10)
- Japan Academy of Public Health Nursing. [Nihon koshu eisei kango gakkai niyoru koshu eisei kango kanren no yogo no teigi.] https://japhn.jp/wp/wp-content/uploads/2017/04/def_phn_ja_en.pdf (accessed 2018-08-10)(in Japanese)
- [17] APHA Public Health Nursing Section. The definition and practice of public health nursing. <https://www.apha.org/-/media/files/pdf/membergroups/phn/nursingdefinition.ashx?la=en&hash=331DBEC4B79E0C0B-8C644BF2BEA571249F8717A0> (accessed 2018-08-10)
- [18] Quad Council Coalition. Community/ public health nursing competencies. <http://www.quadcouncilphn.org/documents-3/2018-qcc-competencies/> (accessed 2018-08-10)
- [19] World Health Organization. Public health nursing : past and future : a review of the literature prepared by Gay Edgecombe. <http://apps.who.int/iris/handle/10665/108460> (accessed 2018-08-10)